

キャンプ場で雷に遭遇！アウトドアで助かる確率を上げる方法

落雷被害に合わない為にどうしたらいい 事故を防ぐ方法をご紹介します



天気の急変を見逃さな

事前に天気予報をチェックしておくことは、自然の中に行って遊ぶときの基本です。現在は雷注意報の他、発雷確率を気象情報で知ることができます。少しでも天気が急変する可能性がある場合は、そのことを念頭に置いて行動するのがいいでしょう。何より天気が崩れる可能性が低くても高くても、山の天気は変わりやすく、実際に天気が急変することは珍しくありません。

急な大雨や雷から身を守るためには、空の変化に注意しながら積乱雲が近づくサインを見逃さないのがポイントです。大気の状態が不安定になると、雷をもたらす積乱雲が発達しやすくなります。真っ黒い雲が近づいてきたり、急に冷たい風が吹いてきたら、激しい雨と雷がやってくるサイン！直ぐに近くの安全な場所に避難しましょう。

避難場所の確認をしておく

キャンプ中に急な落雷があった場合、車の中や管理棟などの安全な場所に避難します。

車に落雷した場合、雷の電流は金属でできたボディを伝いタイヤから地面に流れます。車内には電流は流れませんので、避難する場所として利用することができます。

その他、いざという時に管理棟など屋根と壁のある頑丈な建物に逃げ込めるか、管理人に確認しておくといでしょう

雷は、高いところに落ちる傾向があります。

周りに何も無いような場所では、人や木、テントのポールめがけて落ちてくる可能性があり危険なのです。傘も危険なので、閉じてくださいね。

直撃雷、側撃雷の死亡率は共に 90%

[気象庁のHP](#)によると、落雷を直接受けた場合（直撃）の死亡率は約 80%（処置しない場合は 90%）。また、最初に紹介した「安全なキャンプのために ~事故事例に学ぶ~PART7」では、側撃雷の死亡率も 90%とされています。

側撃雷とは、落雷を受けた物から別の物に電流が飛び移ることを言い、雨宿り中の木からの側撃雷は、落雷死亡事故原因の直撃に次ぐと言われています。

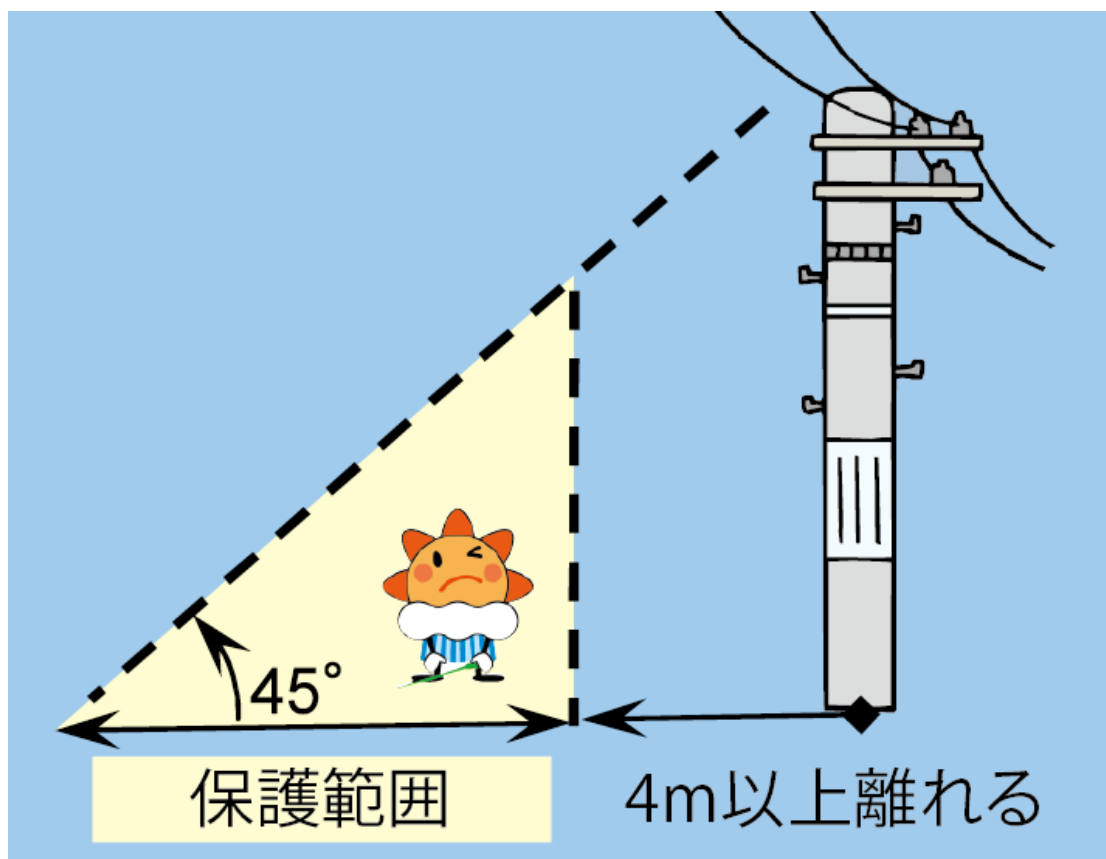
木の下やテントの下が危険なのは、木やポールに直撃した雷が人体に飛び移る可能性があるからです。

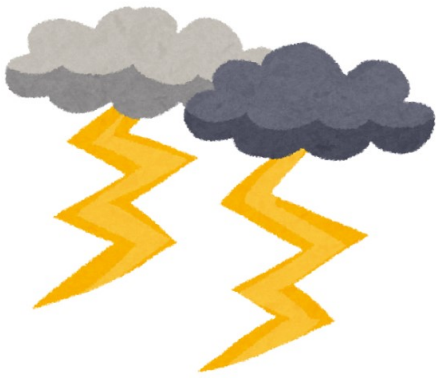
近くに避難場所がない場合はどうする

安全な場所が近くにない場合は、屋外の比較的安全な場所を見つけて、低い体勢を保ちながら雷が通り過ぎるのを待ちましょう。

では、屋外で比較的安全な場所はどのように見分ければよいのでしょうか。

近くに 5m 以上の高いもの（例えば電柱や煙突など、ただし木は NG※）があれば、その物体の保護範囲に入り、低い姿勢を保ってください。





カミナリしやがみ